



至遅

第5号
浦添市立
浦西中学校
校長 仲嶺香代

充実した夏休みに

終業式各学年生徒代表のあいさつ

七月十九日、一学期の終業式を執り行いました。連日の猛暑のため、熱中症対策としてオンラインで各クラスをつないでの終業式となりました。

各学年から生徒代表三名が、カメラの前で一学期を振り返り、堂々とあいさつをしてくれました。内容にはそれぞれの学年らしさが現れています。



1学年代表 上間美優さん

「一学期を振り返って」 一学年 上間 美優

私たち一年生は、四月に浦西中学校に入学し、新しい学校生活をスタートしました。入学したばかりのころは、新しい環境での生活で不安でいっぱいでした。小学校のころとは大違いで、教科担任制や定期テストなど、中学生になってから初めて取り組むことが多くなり、日々悩むことばか

りでした。ですが、悩んでいるところに先生方や先輩方が優しく教えてくださったおかげで、だんだんと充実した日々を送ることができるようになりました。

また、一学期は部活動や中学校初めての行事などで、一年生の良いところである「元気なところ」を活かし、遠足やKZNプロジェクトなど、様々な行事に仲間と協力し合いました。

ですが、元気があり余りすぎて授業態度などで注意されることもありました。生活面でも服装や身なり、遅刻などがあり、注意されることもあったので、二学期は皆で気をつけていきたいです。

最後に、二学期には合唱コンクールや浦西High祭などがあるので、みんなで一団結して最幸の二学期にしましょう。



2学年代表 石川勇竜さん

「一学期を振り返って」 二学年 石川 勇竜

僕達二年生は一学期で色々なことを学んで成長しました。始めに行った遠足では、新しいクラスで慣れない中、突然の雨で綱引きがなくなり少し残念に思いましたが、最後まで学年全体で協力することで楽しむことができました。後日行われた「学級対抗五色綱引き」では延期になってしまった分、各学級が全力でぶつかり合い、互いに協力し合うことで最高の時間を過ごすことができました。

去年から引き続き行われた探究学習では、自分たちで立てた仮説を証明するために自分たちで計画を立て、実際に街に出て、二度にわたるフィールドワークを行い、アンケートやインタビューなどの調査を行い、そこから分かる結果を元に資料にまとめて発表することで、去年とは違う意味で、自立心を学びました。

また、二年生初めての定期テストでは、去年の反省を生かして、計画的に勉強をする人が増えていて成長を感じることができました。

そして、後輩ができて初めて行われたKZNプロジェクトでは去年とは違った立場で先輩をひっぱり、学年関係なく全員で協力し、全力で取り組むことで、他学年との交流を深め、学年の壁を壊してきました。



僕は一学期副級長という立ち位置に立ってみて、みんなをまとめるのは大変だし、とても疲れることだけど、それと同時に去年とは違い副級長という級長を支える立場に立つことで、今までと違い補佐をすることが、新鮮で楽しかったです。次学期からは新しい正副級長を支えられるように頑張りたいです。

私たちは夏休みが明けると一年間の中で一番長い二学期が始まります。去年とは違い定期テストはありませんが、修学旅行という中学生生活の中でとても大きいイベントが待っています。まだまだ一学期分の経験しかありませんが、今までの先輩方の修学旅行を超す、最高の修学旅行にするためにも、学年全員が全力で協力できるようなより良い学年にしていきたいです。